2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡

シリーズ

総合取扱説明書　兼保証書

3R SYSTEMS CORP.

目　次

倍率の表記について

倍率は撮影画像を 15 インチモニタへ表示した際の実サイズを基準に表記しております。それ以外のサイズのモニタや TV モデルの専用モニタで表示した場合の表示倍率は異なります。あらかじめご了承ください

1　　安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために禁止している点や注意すべき点が記載されています

お客様の損害を防ぐために必ずお読みになった上でご利用ください

警告

以下は死亡や重症など重大な事故の恐れがある内容です

注意

ＴＶモデルは充電アダプタが２種類付属しています。液晶モニタ用の AC アダプタと顕微鏡用の充電ケーブルはそれぞれ専用の充電器です。もう一方の機器の充電には絶対に使わないでください

注意

本体やモニタを直射日光の当たる環境や高熱になる環境で保管、使用しないでください。バッテリーが膨張し破裂 爆発する恐れがあります。また煙や異臭などを感じた時はすぐに使用をやめてください

製品から出る光を直視しない

本体の光源用の LED を直視しないでください。あなたの視力に障害を及ぼす恐れがあります

ぬれ手での使用禁止

本体がぬれた状態や、ぬれ手で使用しないでください。感電する恐れがあります

分解禁止

製品を分解、改造しないでください。感電や火災の恐れがあります

本体樹脂に有機溶剤使用禁止

本製品の清掃にアルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください

指定外の電源装置は使わない

火災や感電を起こす恐れがあります

注意

以下はそれ以外に注意すべき内容です

充電が終わったら、充電ケーブルは本体、モニタから取り外す

レンズ部に指などを入れないこと。またレンズ部を強い光に向けないこと

充電池を内蔵しています。廃棄の際は各自治体の指示に従ってください

2　　　Anytyシリーズラインナップ、内容物について

本取扱説明書は　2.4GHz ワイヤレス顕微鏡「Anyty」シリーズ総合マニュアルとなっております。お求めいただいたモデルによって付属品の組み合わせが異なりますのでご確認ください

製品タイプによる付属品の内訳（各モデルの全内容物は次ページをご覧ください）

A.全モデル共通の付属品

●取扱説明書兼保証書（本書）
●専用バッグ

B.200 倍顕微鏡本体の付属品

●200 倍モデル本体
●レンズカバー3 点
（60 / 200 倍用）
（80 / 150 倍用）
（100 倍用）

C.600 倍顕微鏡本体の付属品

●600 倍モデル本体
●レンズカバー2 点
（500 倍用）
（600 倍用）

D.PC モデルの付属品

●USB レシーバー　●本体スタンド　●AC/USB 変換アダプタ
●miniUSB ケーブル　●本体充電ケーブル　●ホルダー
●簡易スケール　●ソフトウェア CD

E.TV モデルの付属品

●専用モニタ　●モニタ用スタンド　●AC/USB 変換アダプタ
●モニタ用 AC 充電器　●miniUSB ケーブル　●本体充電ケーブル
●TV ケーブル

各モデルの内容物の一覧

各モデルの内容物、付属品は以下の通りとなっております。前ページに記載された記号で記載されておりますのでお求めのモデルの付属品が正しく含まれているかご確認ください

No	商品名	品番	内容物
1	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍 PC モデル	3R-WM401PC	A、B、D
2	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍 TV モデル	3R-WM401TV	A、B、E
3	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 600 倍 PC モデル	3R-WM601PC	A、C、D
4	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 600 倍 TV モデル	3R-WM601TV	A、C、E
5	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍 PC＆TV モデルセット	3R-WM401PCTV	A、B、D、E
6	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 600 倍 PC＆TV モデルセット	3R-WM601PCTV	A、C、D、E
7	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍＆600 倍 PC モデル	3R-WM461PC	A、B、C、D
8	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍＆600 倍 TV モデル	3R-WM461TV	A、B、C、E
9	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍＆600 倍 PC＆TV フルセット	3R-WM461PCTV	A、B、C、D、E
10	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 200 倍本体のみ	3R-WM401	A、B
11	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 600 倍本体のみ	3R-WM601	A、C
12	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 PC 用レシーバーのみ	3R-WMSOFTSET	A、D
13	2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡 TV 用モニタのみ	3R-WMMOTV	A、E

PC モデルの操作は → 6 ページ

TV モデルの操作は → 39 ページ

をご覧ください

3　電波に関する注意事項

- 本製品に使用している無線装置は､電波法に基づく 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯（2414MHz～2468MHz）です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器の他、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など、他の無線局があります。
- 本製品を使用する前に、周辺区域で他の無線局が運用されていないことを確認の上、使用を開始してください。
- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁じられている区域で使用しないでください。機器の電子回路に影響を与え本製品や他の無線局の誤作動や事故の原因となる恐れがあります。
- この機器から他の無線局に対しての電波干渉が発生した場合は速やかに使用を中止し、一方を停止するなど混信回避のための処置を行ってください。
- その他本製品の無線装置などについて不明な点などございましたら弊社サポートセンターまでお問合せください。

無線モジュール　TX24011

技術基準適合証明 工事設計認証番号

203WWJN000066

P1　　Anyty 本体を充電する

顕微鏡本体は充電式です。使用を開始する前に、顕微鏡本体のバッテリーを充電します

付属の本体充電ケーブルを顕微鏡本体の充電用コネクタに接続します

接続したらパソコンの USB ポートか、AC/USB 変換アダプタに接続します

充電中はダイヤルスイッチが青色に点滅します

充電時間は約 3 時間です。満充電で最大 5 時間使用が可能です

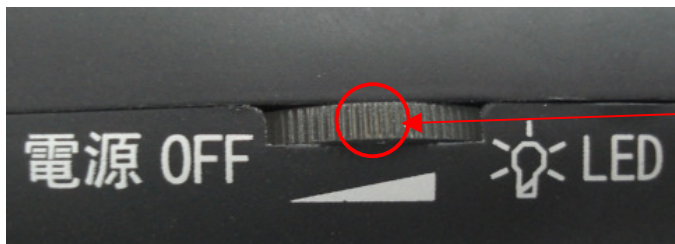
注意　USB 充電ケーブルは顕微鏡本体専用です。ほかの機器で使用しないでください

充電用コネクタ

顕微鏡本体の背面に充電用のコネクタがあります

ダイヤルスイッチ

顕微鏡本体側面に電源スイッチがあります。右に回して「カチッ」と音が鳴ると電源オンになります

左に回すと同じく音が鳴って電源オフとなります

ダイヤルスイッチ

ダイヤルスイッチは充電中や動作中に点灯します。各状態での点灯内容は以下の通りです

充電中	青い点滅
充電完了	青い点灯
電池が消耗した状態	赤い点灯

P2　　付属ソフト（Anyty VIEW）の動作要件

PC モデルをパソコンでお使いになるには付属ソフト Anyty VIEW のインストールが必要になります
Anyty VIEW の動作要件は以下のようになります

※本製品のソフトウェアは 2012 年現在 Windows8 に正式対応しておりません。
最新の対応状況については弊社ホームページ（http://www.3rrr.co.jp/support/taiou/）をご覧ください

★最低動作要件

対応 OS※	Windows7（32bit / 64bit）
	WindowsXPSP2 以上、Vista　共に 32bit 版のみ
CPU	Pentium III 600Mhz 相当以上の CPU
光学ドライブ	必須
メモリ	256MB 以上の物理メモリ
保存領域	100MB 以上の空き容量
接続方式	USB1.1/2.0
表示領域	15 インチ（XGA）以上の表示領域
グラフィック機能	16bit カラー以上のグラフィック機能
実行権限	ソフトウェアのインストールと実行に管理者権限が必要なことがあります

★推奨動作要件

CPU	Pentium 4　1.6Ghz 相当以上の CPU
メモリ	512MB 以上の物理メモリ
保存領域	10GB 以上の空き領域
表示領域	17 インチ（SXGA）以上の表示領域
グラフィック機能	16bit カラー以上、ビデオメモリ 64MB 以上のグラフィックカード

P3　Anyty VIEW のインストール（Windows7/Vista）

※インストールの際にウイルス対策ソフトなどが有効だと正常にインストールできないことがあります。対策ソフトのマニュアルなどを参照し一時的に無効にしてからインストールを行ってください

※　インストールが完了するまで、専用レシーバーを PC に接続しないでください

※　画面が暗転し、ユーザーアカウント制御（UAC）が表示された場合は「続行」を押してください

①　パソコンの光学ドライブに付属のソフトウェア CD をセットします。自動再生が有効な場合は下記のようなメニューが表示されます。Autorun.exe の実行をクリックするとインストールプログラムが起動します

※お使いの環境で自動的にプログラムが起動しない場合はスタートボタンの「マイ　コンピュータ」をダブルクリックし光学ドライブのアイコンを右クリック後「開く」を押し、CD 内の「Autorun.exe」を実行してください。インストールプログラムが起動します

コンピューター ▸ DVD RW ドライブ (D:) 3R Anyty ▸

整理 ▾　ディスクに書き込む

お気に入り / ダウンロード / デスクトップ / 最近表示した場所 / ライブラリ / ドキュメント / ピクチャ / ビデオ / ミュージック / コンピューター / ローカル ディスク / DVD RW ドライブ / ネットワーク

現在ディスクにあるファイル (12)

名前	更新日時	種類	サイズ
3R Anyty VIEW 40101	2012/09/13 15:35	ファイル フォル...	
3R_Anyty VIEW 40101_32bit_Driver	2012/09/13 15:35	ファイル フォル...	
3R_Anyty VIEW 40101_64bit_Driver	2012/09/13 15:35	ファイル フォル...	
3R Anyty VIEW 40101-32bit_Setup	2012/08/31 13:55	アプリケーション	21,008 KB
3R Anyty VIEW 40101-64bit_Setup	2012/08/31 15:29	アプリケーション	21,139 KB
450X~600X Microscope Manual	2012/02/28 15:28	IrfanView JPG File	898 KB
Autorun.cdd	2012/08/31 11:05	CDD ファイル	200 KB
Autorun	2012/08/31 11:05	アプリケーション	2,560 KB
Autorun	2008/11/14 9:02	IrfanView ICO File	10 KB
autorun	2012/08/31 11:05	セットアップ情報	1 KB
Magnification-working Distance-View...	2010/12/09 12:36	IrfanView JPG File	87 KB
Polarizer_Manual	2012/02/28 15:53	IrfanView JPG File	1,021 KB

Autorun　更新日時: 2012/08/31 11:05　作成日時: 2012/08/31 11:05
アプリケーション　サイズ: 2.50 MB

② セットアッププログラムが起動すると下記のようなメニュー画面が表示されます。お使いの環境に合わせて「Install Software（32bit)」または「Install Software（64bit)」をクリックしてください

※お使いの環境が 32bit か 64bit かを確認するには 56 ページをご参考ください

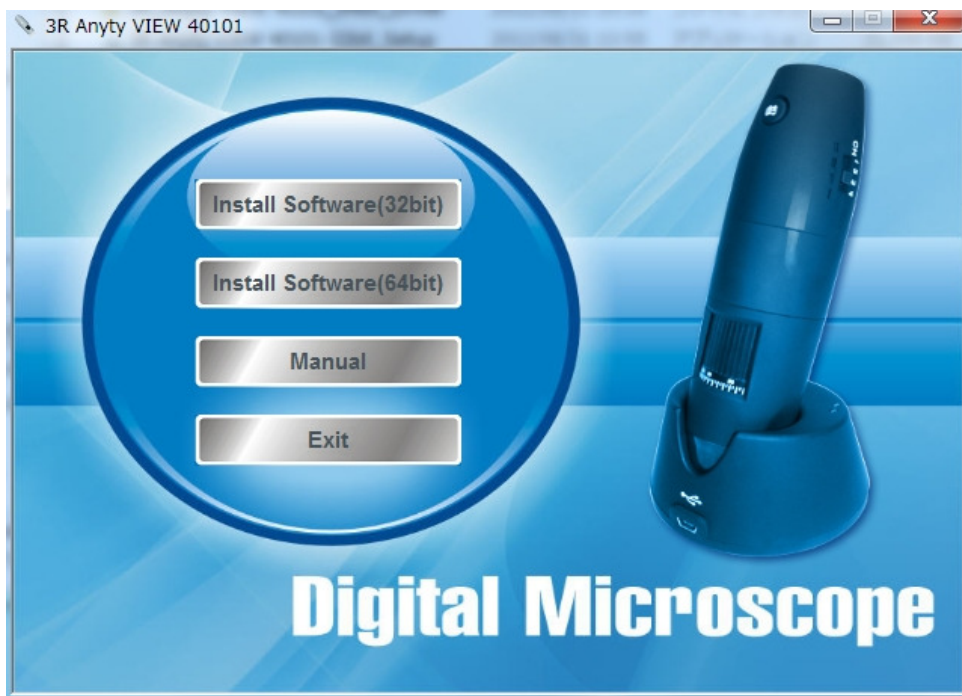
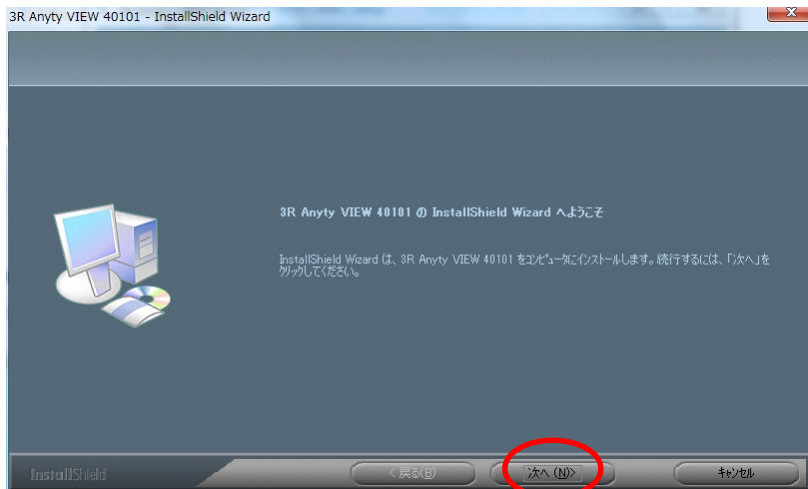
3R Anyty VIEW 40101

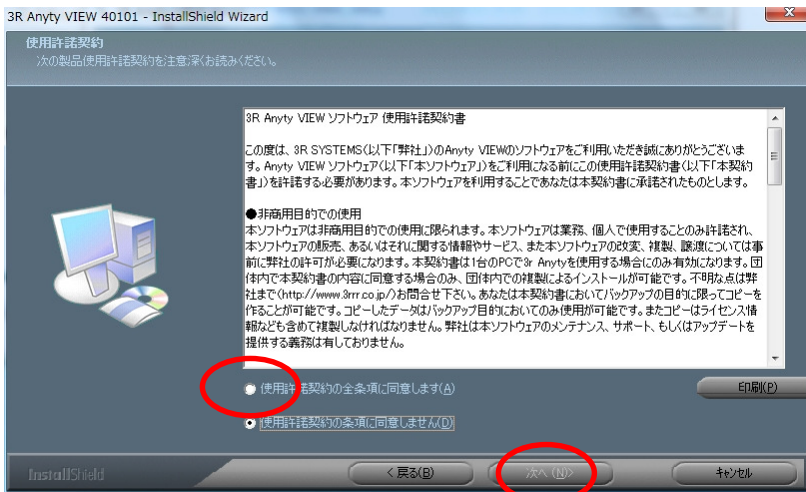
Install Software(32bit)

Install Software(64bit)

Manual

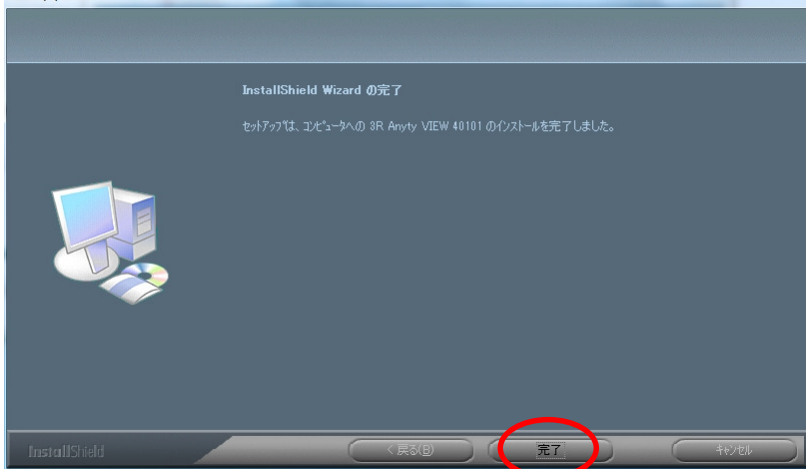
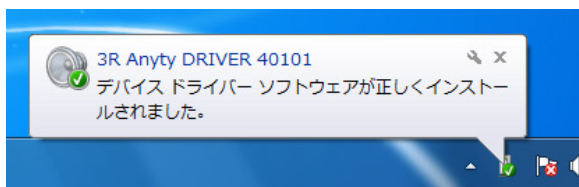
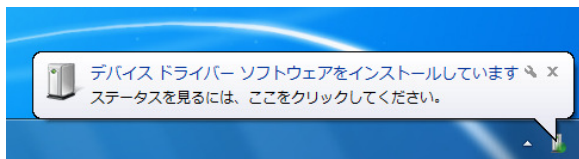
Exit

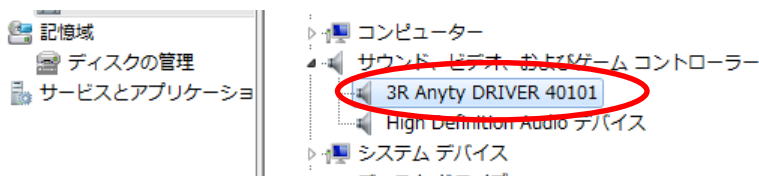
Digital Microscope

③ 下記の画面が表示されます。「次へ」をクリックします

④　「使用許諾契約書」が表示されます。インストールを続ける場合は

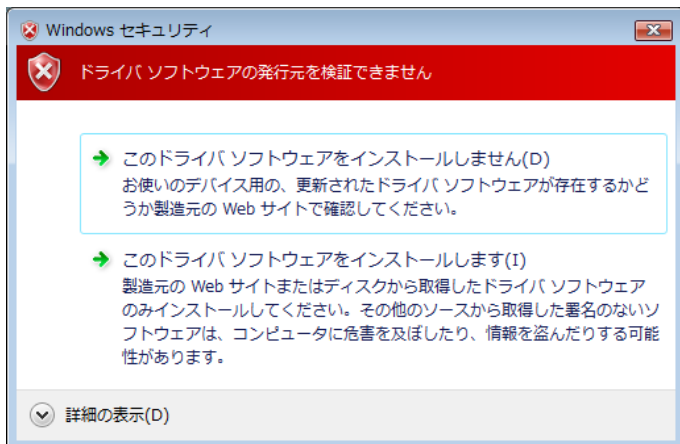
「～に同意します」にチェックを入れて「次へ」をクリックします

⑤　次の画面ではインストールするフォルダを指定することが出来ます

通常はそのまま「次へ」をクリックします。プログラムのインストールが開始します

⑦　下の画面が表示されたら「完了」を押します

以上で Anyty VIEW のインストールは完了です。続いてレシーバーの認識作業を行います

⑧　専用レシーバーを miniUSB ケーブルで PC の USB ポートに接続します。Windows が自動的にドライバを検索します。下のメッセージが表示されたらインストールは完了です

※　デバイスマネージャには画像のような名称で表示されます

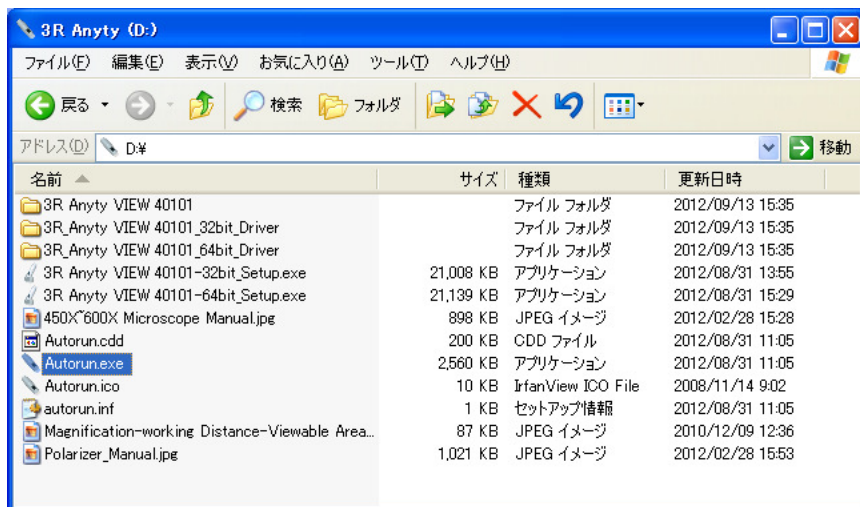
※　デバイスマネージャで確認するには Windows 右下のスタートメニューの「コンピュータ」を右クリックし「管理」をクリックしてください

※　インストールの途中に以下のメッセージが表示された場合は

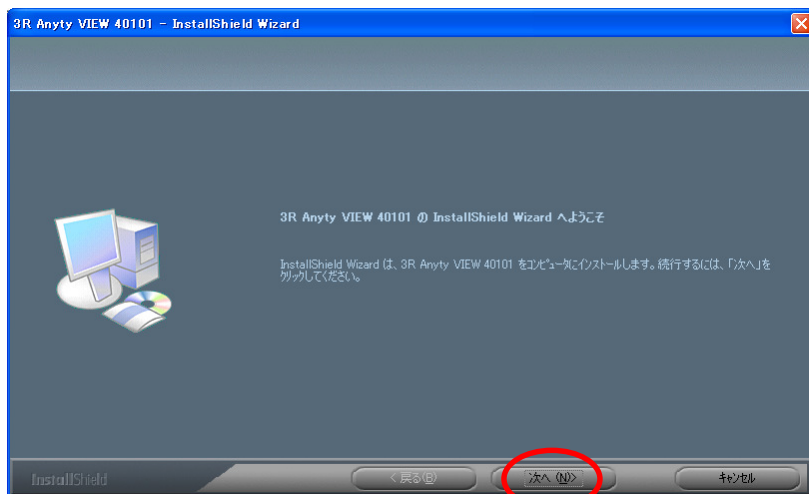
「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してください

P4　　Anyty VIEW のインストール（WindowsXP）

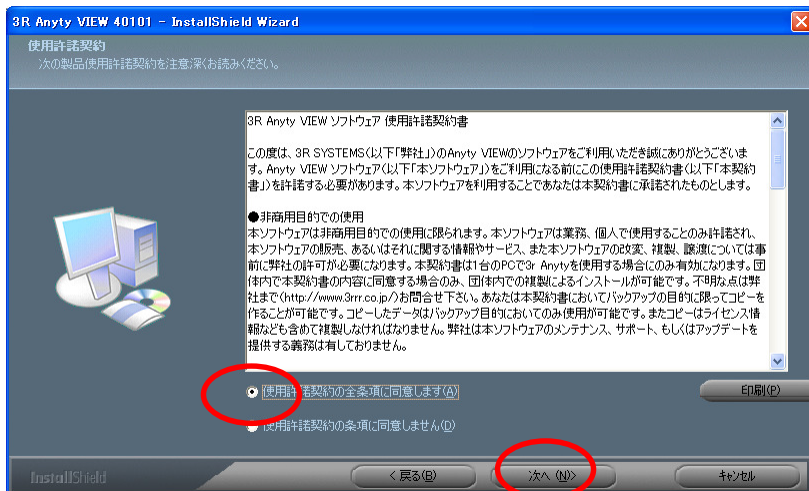
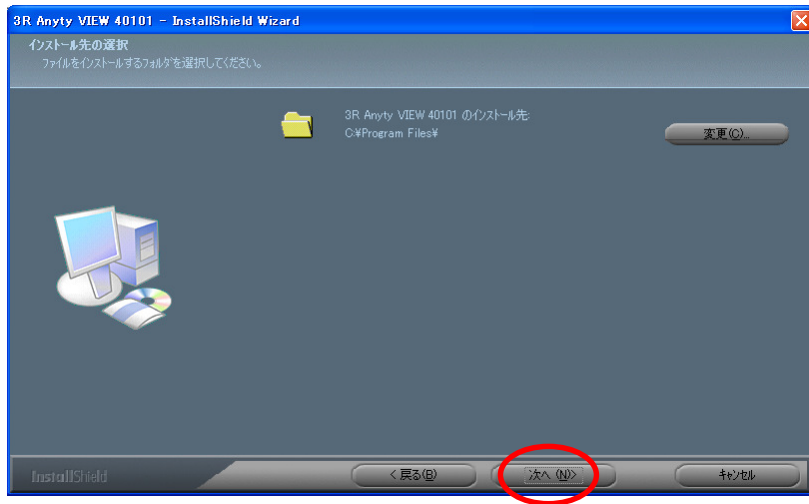
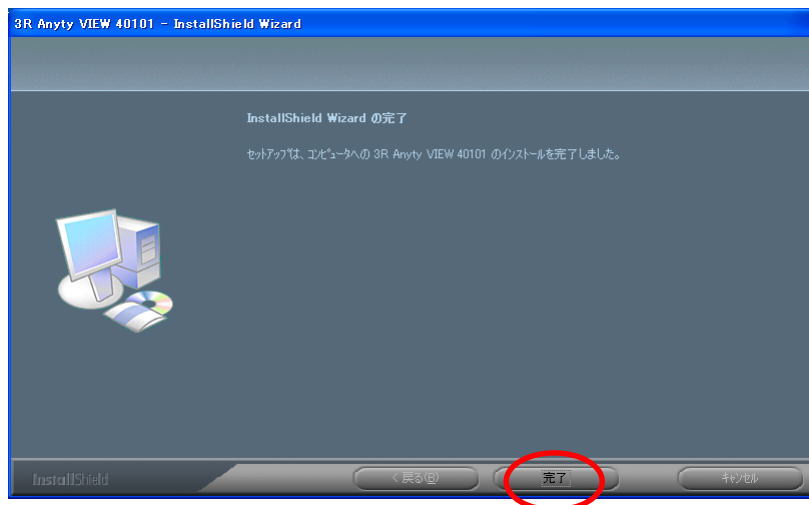
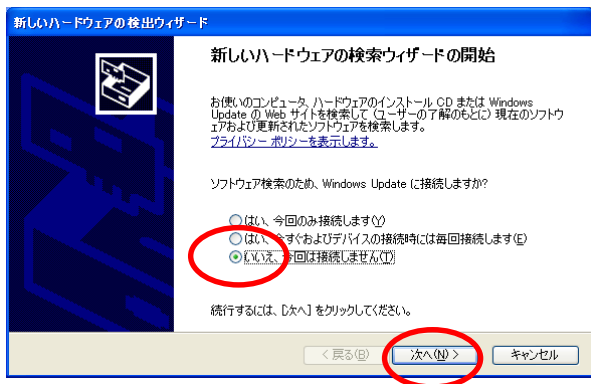
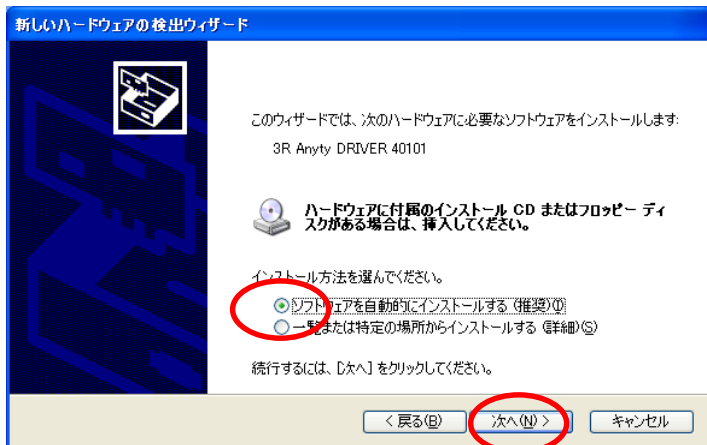
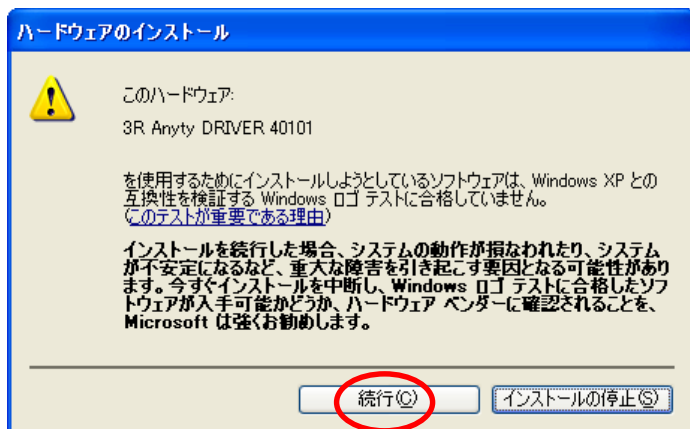
※インストールの際にウイルス対策ソフトなどが有効だと正常にインストールできないことがあります。対策ソフトのマニュアルなどを参照し一時的に無効にしてからインストールを行ってください

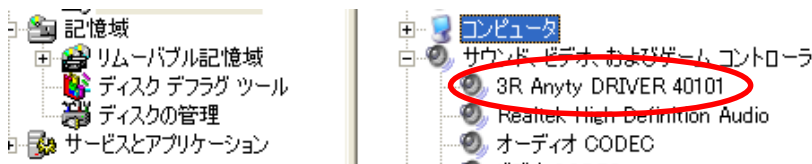
※　インストールが完了するまで、専用レシーバーを PC に接続しないでください

①　パソコンの光学ドライブに付属のソフトウェア CD をセットします。自動的にインストールプログラムが起動します。「Install Software（32bit）」をクリックしてください

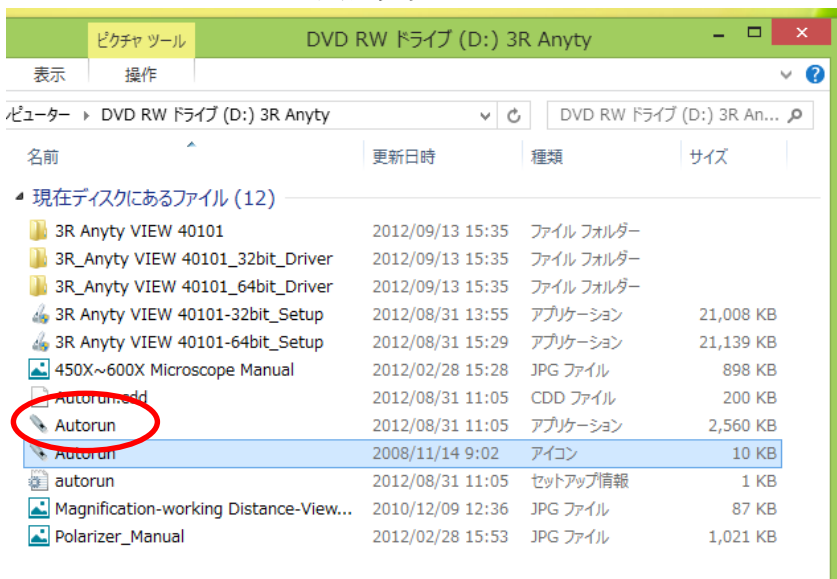
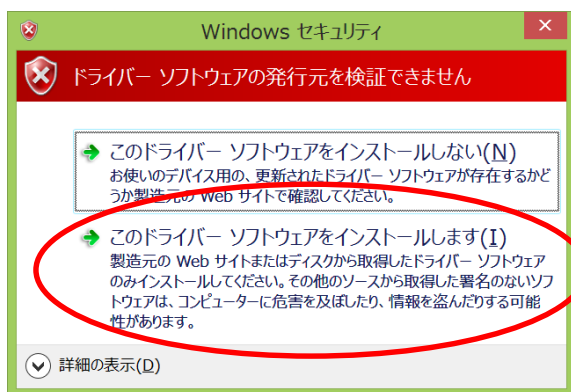
※お使いの環境で自動的にプログラムが起動しない場合はスタートボタンの「マイ コンピュータ」をダブルクリックし光学ドライブのアイコンを右クリック後「開く」を押し、CD 内の「Autorun.exe」を実行してください。インストールプログラムが起動します

② メニューの「Install Software」をクリックすると下記の画面が表示されます

「次へ」をクリックします

③「使用許諾契約書」が表示されます。インストールを続ける場合は

「～に同意します」にチェックを入れて「次へ」をクリックします

④　次の画面ではインストールするフォルダを指定することが出来ます
通常はそのまま「次へ」をクリックします。プログラムのインストールが開始します

⑤下の画面が表示されたら「完了」を押します。以上で Anyty VIEW のインストールは完了です。
続いてレシーバーの認識作業を行います

⑦　専用レシーバーを PC の USB ポートに接続します。下記のようなメッセージが表示されたら
「いいえ、今回は～」を選択して「次へ」をクリックします

⑧　「ソフトウェアを自動的に～」を選択して「次へ」をクリックします
ドライバのインストールが開始されます

⑨ドライバのインストールが開始されます。インストール中に下記のような警告画面が
表示された場合は「続行」をクリックしてください

⑩　以下のような画面が表示されたら、「完了」をクリックします。
以上でドライバのインストールは完了です

※デバイスマネージャには以下の位置に表示されます。

P5　Anyty VIEW のインストール（Windows8 での起動）

※本製品のソフトウェアは 2012 年現在 Windows8 に正式対応しておりません。
64bit 版の最新の対応状況は弊社ホームページ（http://www.3rrr.co.jp/support/taiou/）をご覧ください

※Windows8 の 32bit 版でセットアップを行う場合はインストール CD を光学ドライブにセットした後にデスクトップ画面左下のコンピュータアイコンをクリックしてください。エクスプローラーが表示されますので光学ドライブのアイコンを開いてから「Autorun.exe」を実行してください。以降の操作は 8 ページの Windows7/Vista のインストール手順を参考ください。

ドライバのインストール時に下記のような警告画面が表示された場合は「このドライバー　ソフトウェアをインストールします」をクリックしてドライバのインストールを続行します

※使用手順の詳細は次ページ以降をご覧ください

①　レシーバーを PC に接続して 無線チャンネルを合わせます 	②レンズカバーを装着して、本体の電源をオンにします
③　専用ソフト「Anyty VIEW」を 起動します 	④　倍率ダイヤルと LED の明るさを調整して 撮影ボタンを押すと PC に保存します

P7　　電源を入れる、無線チャンネルを合わせる

1.専用レシーバーを付属の miniUSB ケーブルでパソコンに接続します

接続したら無線チャンネルスイッチを 4 チャンネルのいずれかに設定してください

無線チャンネルスイッチ

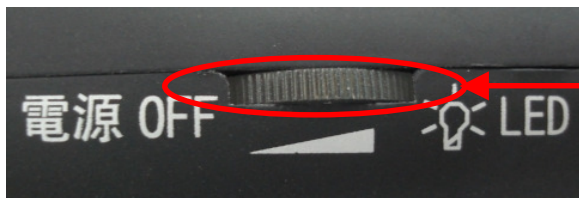
（1、2、3、4 の 4 チャンネル）

2.次に Anyty 本体の無線チャンネルスイッチをレシーバーと同じ番号に合わせます。

無線チャンネルスイッチ

（1、2、3、4 の 4 チャンネル）

3.番号を合わせたら Anyty 本体のダイヤルスイッチを右に回して

「カチッ」と音がすると本体の電源が ON になります。

ダイヤルスイッチ

※　LED の光の調節と

兼用です。

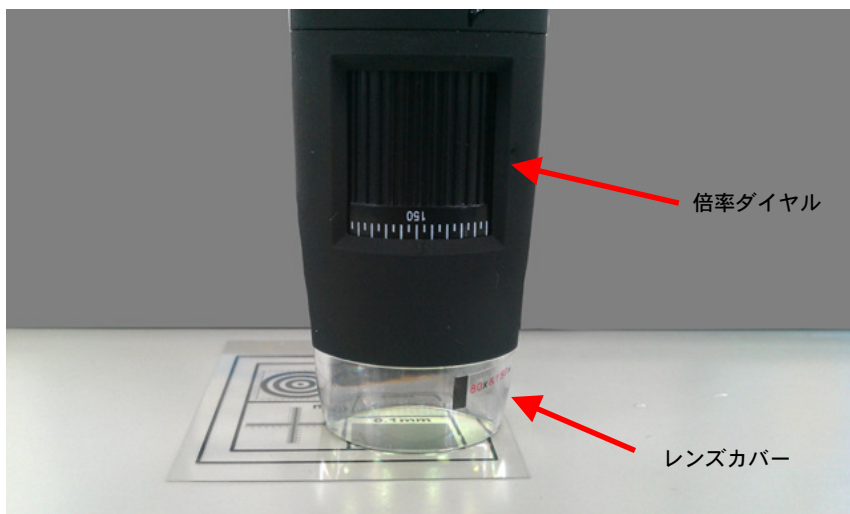
P8　　Anyty 本体の操作について

※この顕微鏡は倍率ダイヤルが手前を向く方向で使用します。

1.レンズカバーの装着

本製品は単焦点のため、合わせる倍率によって対象物までの高さ（距離）が異なります。

付属のレンズカバーには対応する倍率が印刷されていますので撮影したい倍率に合わせてレンズカバーを付け替えて使用してください

撮影はレンズカバーと対象が接触する位置が正しい焦点距離となります。焦点の微調整は倍率ダイヤルで行ってください

2.非接触の撮影や任意の倍率での撮影

顕微鏡はレンズカバーを取り外した状態で撮影することも可能です。対象物にレンズカバーを接触できない場合やレンズカバーにない任意の倍率で撮影したい場合は先に倍率ダイヤルで撮影したい倍率に合わせてから手で対象物との距離を調整して使用してください

※本体の内部の LED やレンズに接触しないようご注意ください

矢印の方向に引くと
外れます

P9　　　Anyty VIEW で撮影する

●Anyty VIEW を起動する

Anyty VIEW をインストールするとプログラムの一覧とデスクトップにアイコンが作成されます

※　環境によってデスクトップに作成されない場合があります

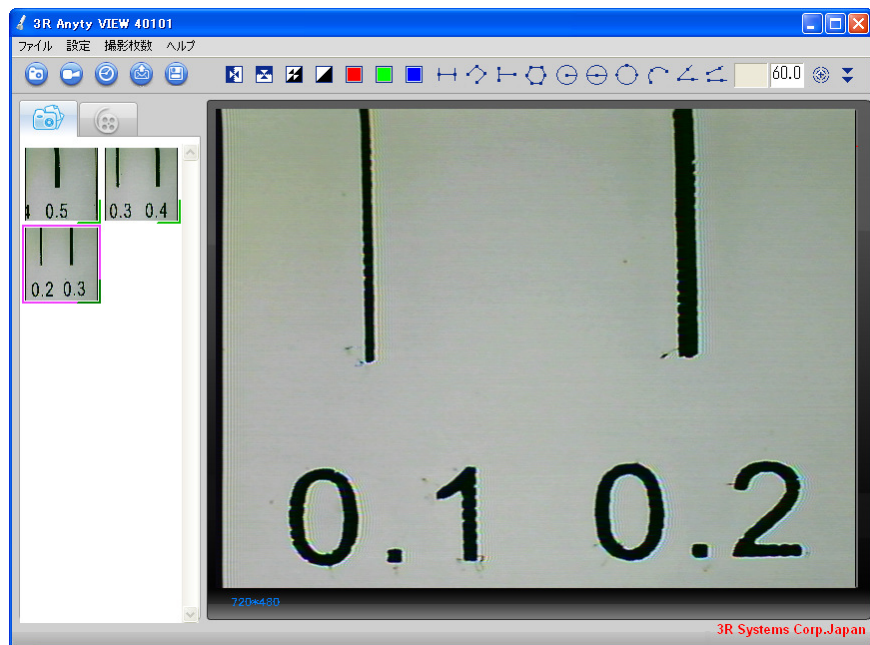
デスクトップアイコン

ダブルクリックすると起動します。

もしくは左下のスタートボタンから「(すべての) プログラム」→「3R Anyty VIEW 40101」→

「3R Anyty VIEW 40101」を左クリックして起動してください

●メインウインドウ

起動すると以下のような画面が表示されます。

●メインウインドウのアイコンについて

画面上部のアイコンには以下のようなアイコンが並んでいます。それぞれのアイコンの名称と機能は以下の通りです

●アイコンの機能

静止画を撮影

動画を撮影　／　停止

静止画の連続撮影

メールに添付

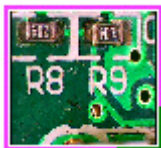
保存

●画像と動画のサムネイル

画像一覧／動画一覧アイコン

撮影データはメインウインドウの左側にサムネイルで表示されます。上のアイコンをクリックすると画像と動画の一覧を切り替えることが可能です。また撮影データはマイドキュメント内の「3R files」フォルダに保存されますのでエクスプローラーで保存フォルダを直接参照することも可能です。

●サムネイルの状態

サムネイル画像はその状態によって以下のような枠が表示されます

現在選択中のサムネイル

～　ピンクと緑の枠

保存済みのサムネイル

～　右下に緑の枠

「保存」アイコンで別のフォルダに保存された画像

～　枠なし

●静止画を撮影する

静止画を撮影する方法は以下の 3 通りです。

① ツールバーの「静止画を撮影する 」アイコンを左クリックする

② キーボードの F2 キーを押す

③ 顕微鏡本体の丸いボタン を押す

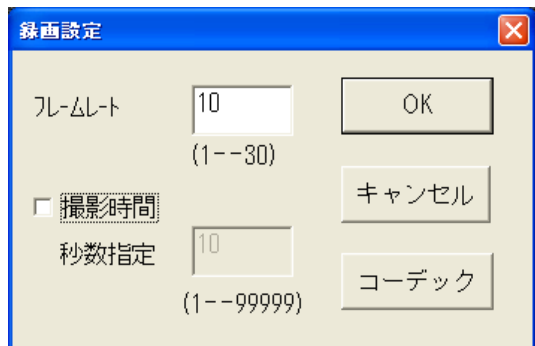
撮影された画像はマイドキュメントの 3R Files フォルダに

Still_西暦-月-日_時分秒_(拡大倍率)_番号.bmp

という名前で保存されます。

拡大倍率はメインウインドウで撮影時の倍率を入力しておくことでファイル名に倍率が入力されます

倍率ダイヤルの目盛りをみて倍率を入力します。

（→30 ページ）

●動画を撮影する

動画を撮影するときの手順は以下の 2 通りです

① ツールバーの「動画を撮影 / 停止 を左クリックする

② キーボードの F3 キーを押す

と以下のような動画撮影の設定画面が表示されます。それぞれの項目を調整して「OK」をクリックすると撮影が開始されます。

フレームレート（1～30）

１秒あたり何枚の画像を保存するかの設定です。大きな数ほど動きがなめらかな動画になりますがファイルサイズが大きくなり、また録画中の負荷も高くなります。通常はデフォルト値のままで使用してください

（参考　アナログテレビ 約 30 fps　携帯電話の動画 15～24fps）

撮影時間　（秒で指定）

チェックを入れると動画の撮影時間を秒数で指定して自動的に撮影を停止することが出来ます※

チェックを入れない場合にはメインウインドウの「動画を撮影 / 停止 を再度クリックすると動画の撮影を終了し動画データを保存します

※環境やコーデックによっては指定秒数と誤差が発生することがあります

コーデック

顕微鏡が記録したデータをパソコンの動画として取り込む場合のコーデック（外部ソフトウェア）を指定することが出来ます。パソコンによっては追加でコーデックをインストール必要があります。4 故障かなと思ったら（→56 ページ）を参考にコーデックをインストールしてください

●静止画の連続撮影

この機能を使うと静止画を連続撮影することが可能です。

メインウインドウの静止画の連続撮影アイコン をクリックすると以下のような設定画面が表示されます。設定画面の各項目を入力して「開始」ボタンをクリックすると連続画像を撮影します。

開始時間　　撮影を始めたい年月日、時分秒を設定します。

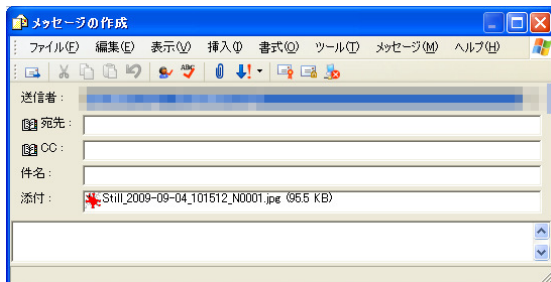
　　　　　　設定している今現在の時間より後の時間を設定してください

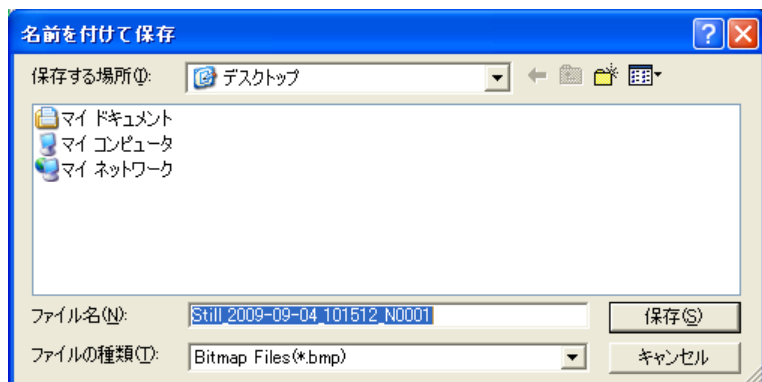
撮影間隔　　撮影する間隔を分秒で設定します。撮影すると設定した間隔で次の画像を撮影します

撮影　　　　撮影したい保存枚数を設定します。

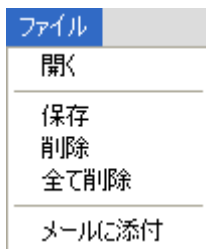
推定サイズ　　設定した内容で使用する容量の推定サイズです

●メールに添付

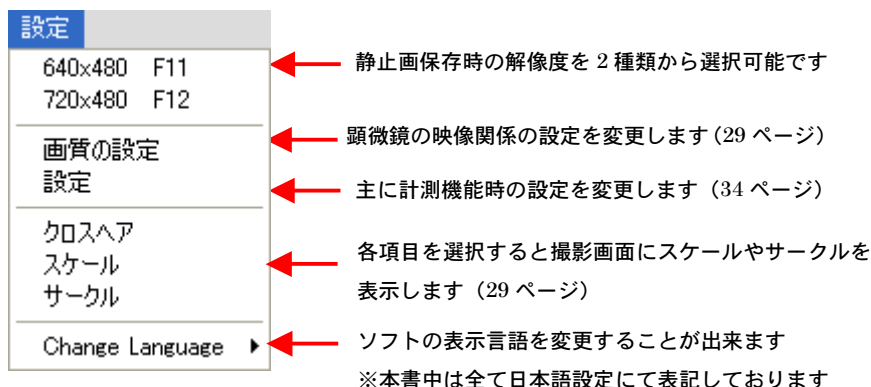
サムネイルの画像や動画を選択して「メールに添付 」アイコンを押すかメニューバーのファイルより「メールに添付」をクリックすると選択データを添付した状態でメーラーが起動します

●保存

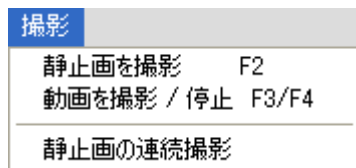
サムネイルの画像や動画を選択して「保存アイコン 」をクリックすると保存用のウインドウが表示され任意のフォルダに保存し直すことが可能です。編集した内容を反映させて保存する場合にもこのアイコンをクリックします。

●メニューバーの項目について

■ファイル

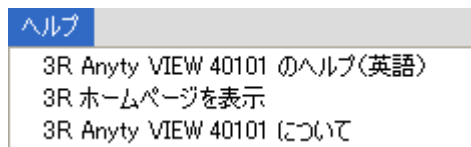
メインウインドウのアイコンと同じく任意のフォルダに編集後のデータを保存したり、選択した画像／動画の削除、また全データの削除などを行います

■設定

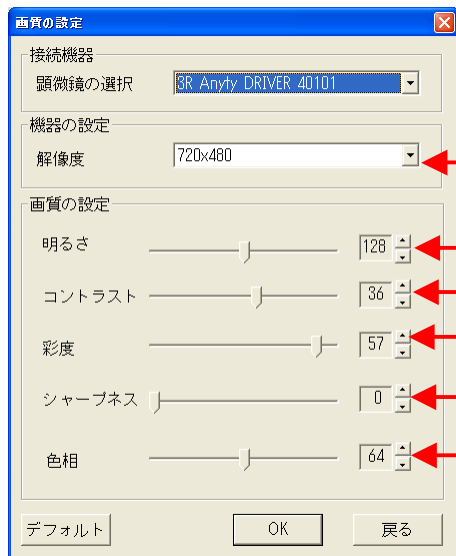
メニューバーの設定では各種設定の変更や画面にスケールを表示させることが可能です

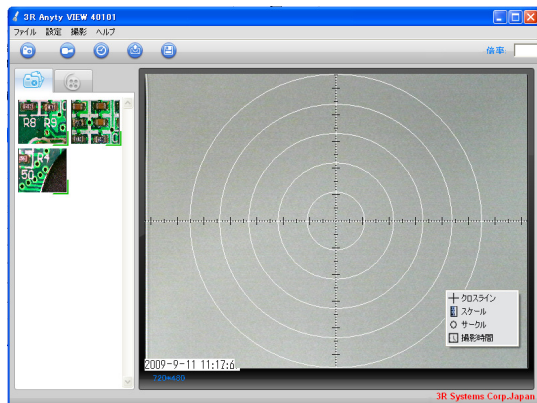
■撮影

撮影メニューではメインウインドウのアイコンと同じく静止画 ／ 動画の撮影や連続撮影を行うことが可能です

撮影
静止画を撮影 F2
動画を撮影 / 停止 F3/F4
静止画の連続撮影

■ヘルプ

ヘルプでは弊社ホームページやバージョン情報を表示します。

ヘルプ
3R Anyty VIEW 40101 のヘルプ（英語）
3R ホームページを表示
3R Anyty VIEW 40101 について

●画質の設定

この項目では顕微鏡の映像の調整を行います

●十字線などの表示

撮影中の画面に十字線などを表示して撮影時の位置合わせや時間の確認に活用できます。メインウインドウの設定中の項目をクリックすると表示が可能です

クロスライン　　中心に合わせて十字線を表示します

スケール　　スケールを縦横に表示します。クロスラインと重なります
スケールの目盛りは撮影倍率に関わらず一定です

サークル　　画面の中心を基準に円を表示します

●フルスクリーンで表示する

メインウインドウ右上の最大化アイコンをクリックすると Anyty VIEW をフルスクリーンで表示することが可能です。フルスクリーンを解除するにはキーボードの ESC キーを押してください

Exit / PRESS ESC KEY

●撮影倍率を入力する

メインウインドウ右上に撮影時の倍率を入力する欄がございます。倍率ダイヤルの目盛りやレンズカバーの印刷を見てこの欄に撮影中の倍率を入力しておくとあとから計測機能を使用する際に入力倍率を元に算出を行います（31 ページ）

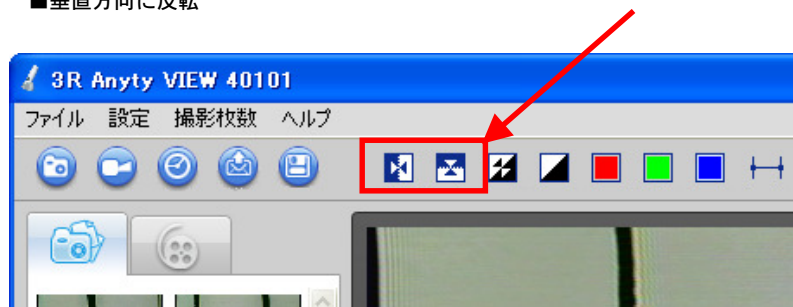
倍率ダイヤルの目盛りをみて倍率を入力します。

●向きの調整

メニューバーの以下のアイコンをクリックすると映像の向きを調整することが可能です

■水平方向に反転

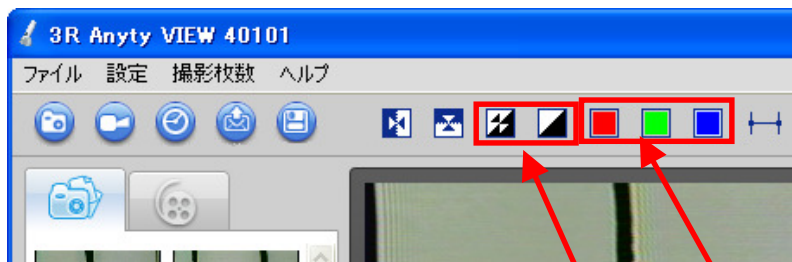
■垂直方向に反転

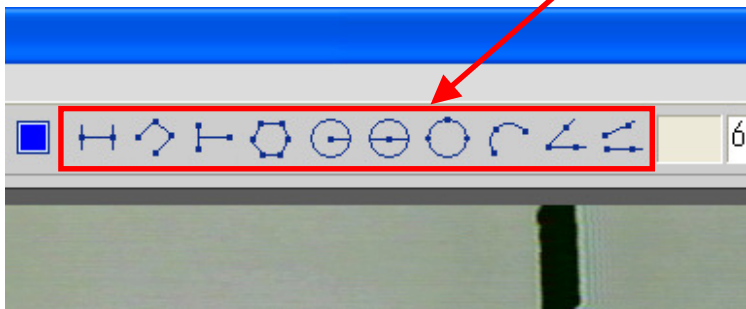
向きの調整アイコン

●色の調整

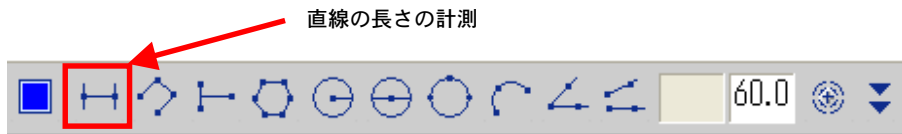
メニューバーの以下のアイコンをクリックすると色を反転させたり、特定の色要素を除いて表示させることが可能です

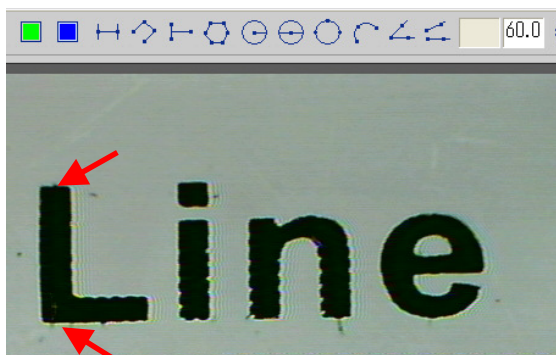
■色の反転

■モノクロ化

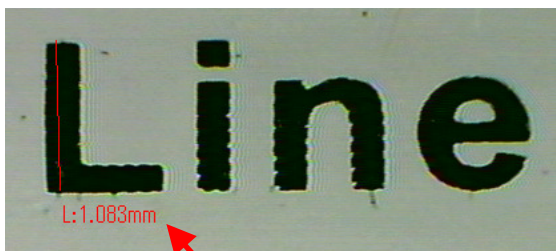
■特定の色を無効に

●計測機能を使う

メニューバー右部の以下のアイコンは計測機能用のアイコンです。それぞれのアイコンをクリックすると対応した計測を実施することが出来ます

●計測機能の操作について（直線の長さの場合）

①メニューバーの下記のアイコンをクリックします

②次にマウスのカーソルで計測したい部分の両端をクリックしてください

下の画像で「L」の高さを測る場合は低いところと高いところをそれぞれクリックします

赤い矢印の位置で 2 回クリックします

③　最後に画像の任意の位置でクリックすると計測した値が画像上に表示されます

計測した値を保存するにはメニューバーの保存アイコンをクリックしてください

もう 1 回クリックすると値が挿入されます

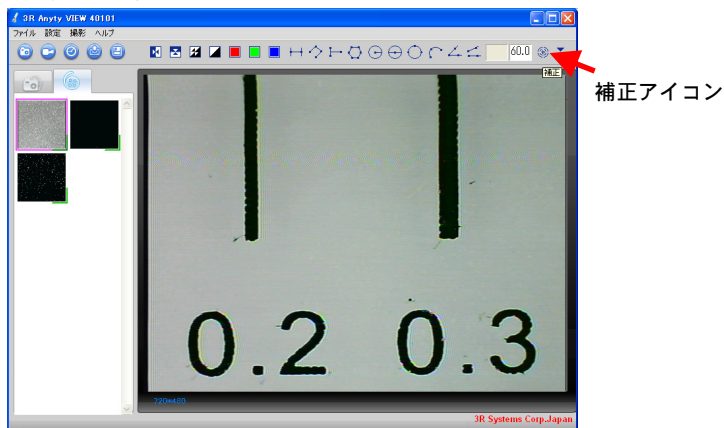
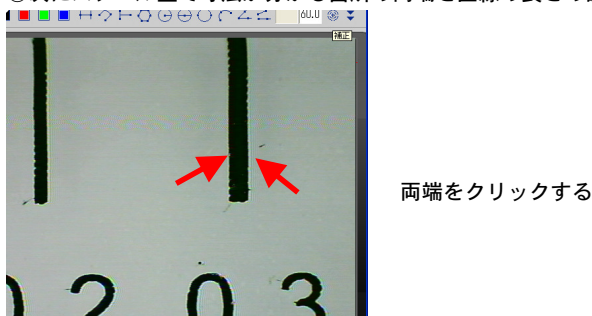
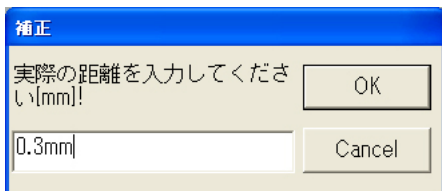
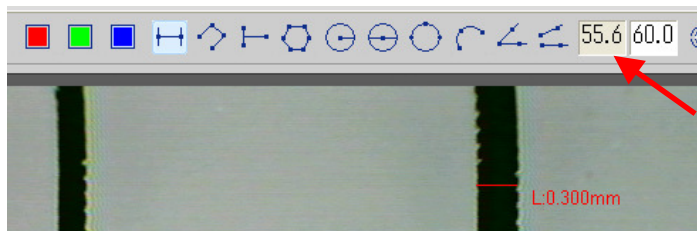
ご注意

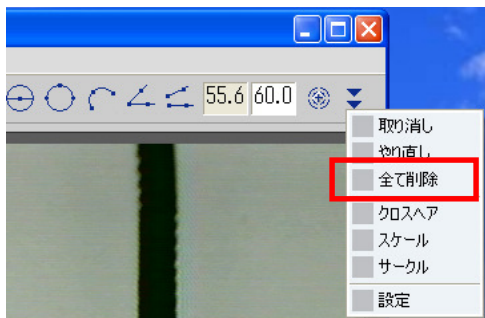
※　表示される値はメインウインドウ右上の撮影倍率の値を基準として算出されます。より正しい値を出したい場合は倍率ダイヤルの目盛りを元に撮影倍率の値を変更するか（30 ページ）、33 ページの補正機能を行ってから計測してください

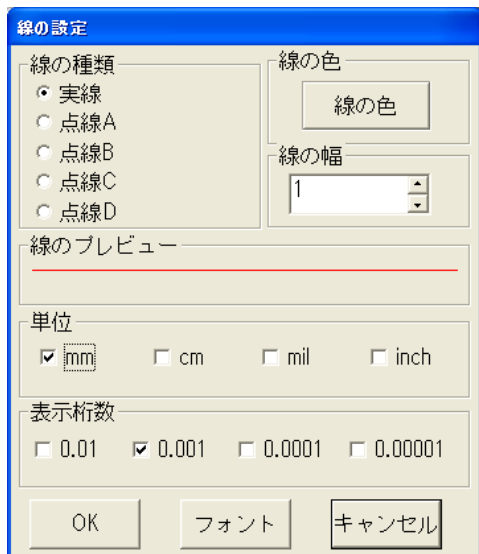
※　計測項目によっては 3 回以上クリックを行います

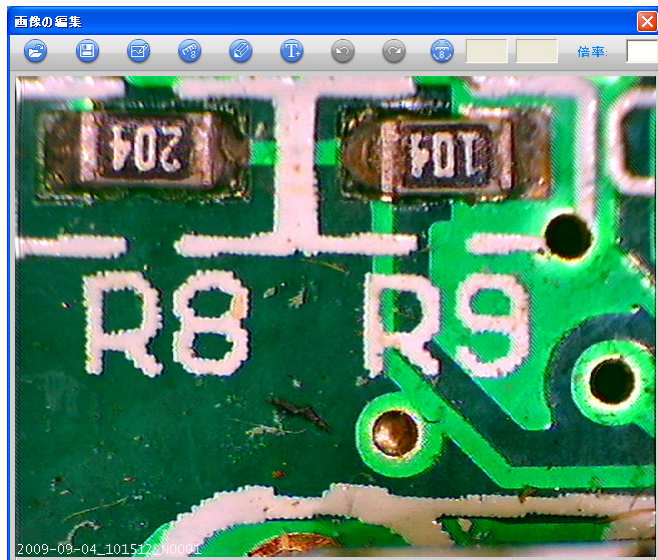
●補正機能

補正機能を使うと計測機能でより正確な値を算出することが出来ます 。補正機能は以下の操作で実施します

①付属の簡易スケールやミクロメーターを顕微鏡で表示します。次にメインウインドウ右上の補正アイコンをクリックします

②次にスケール上で寸法が分かる箇所の両端を直線の長さの計測と同じように２回クリックします

③下記のようなウインドウが表示されますのでその部分の寸法を入力して「OK」をクリックします

④倍率入力の左側に値が入力され、以降はその補正値を基準に計測するようになります

●計測機能のクリア

計測した値をやり直したり削除したい場合は計測機能のアイコンの右側にある▼アイコンをクリックしてください。表示されたメニューの「取り消し」をクリックすると直前に作成した値を削除します。また「全て削除」をクリックすると記入してある値を全て削除します

●線の設定（計測機能の設定）

メニューバーの設定内の「設定」または▼アイコンの設定をクリックすると計測機能用の設定メニューが表示されます。寸法や線を記入する際の書式などを設定することが可能です

P10　　Anyty VIEW で撮影した静止画を編集する

メインウインドウで左側の静止画のサムネイルをダブルクリックすると「静止画の編集」ウインドウが表示されます。ここでは撮影中と同じように計測したり文字を入力して画像を保存することが可能です。

開く

画像を指定して開きます。Anyty VIEW で撮影した画像のみ開くことが可能です。

保存

文字や数値を入力した後の画像を別の名前で保存することが可能です。

線／図形

線や図形を画像に書き込むことが可能です。

測定する

倍率を入力すると、直線の距離などを計測して記入できます

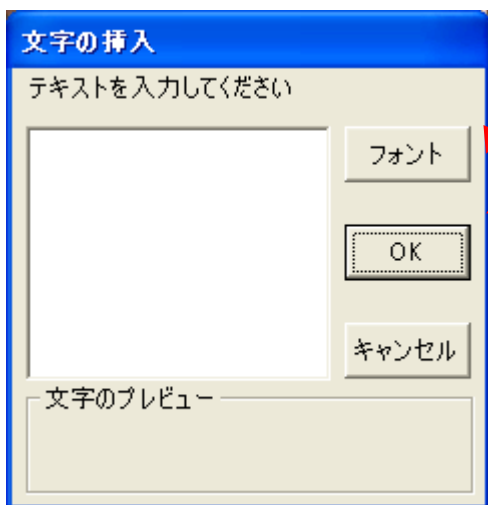
※操作は 32 ページの撮影中の計測と同様です

線の設定

線／図形や測定時の線の色などを変更することが可能です。

※画面と操作は 34 ページの線の設定と同じものです

文字の設定

画像の上に文字を入力することが出来ます。画像の空欄の部分に文字を入力してください

文字のフォントを変更します。

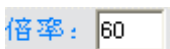
※　フォントは縦書き横書きと別々です
　　ご注意ください

文字を入力したら OK を押します。
その後画像の任意の位置で
左クリックすると文字が
挿入されます。

戻す

編集中の画像をひとつ前の状態に戻します。

やり直し

戻した操作をやり直します。

撮影時の倍率を入力します。距離の測定をする時は入力してください

補正

測定機能の精度を高めるための値の補正を行います

※操作手順は 33 ページの撮影中の補正機能と同様です

P11　　Anyty で撮影した動画を再生する

メインウインドウで撮影した動画をダブルクリックすると動画プレーヤーが表示されます。動画プレーヤーでは選択した動画の再生などが可能です。

P12　　スペック

2.4Ghz ワイヤレス顕微鏡 Anyty PC モデルスペック

イメージセンサー	約 35 万画素 CMOS センサー
静止画記録サイズ	720x480,640x480,320x240
動画記録サイズ	720x480,640x480,320x240（最大 30fps)
光源	高照度白色 LED x 8
無線方式	2.4Ghz 無線方式 4 チャンネル（送信機／受信機）
受信範囲	約 5m
レシーバー接続方式	USB　2.0/1.1
倍率(200 倍モデル)	10～200 倍（15 インチ液晶モニタの場合）
倍率(600 倍モデル)	450～600 倍（15 インチ液晶モニタの場合）
電源方式	充電式(リチウムイオンポリマー充電池)
充電時間	約 3 時間
駆動時間	最大 5 時間
充電可能回数	約 500 回
消費電力	最大 0.75 ワット
焦点調整範囲	200 倍モデル　8～300 ミリ 600 倍モデル　接写のみ
本体サイズ	約 36mm(直径) x 135mm(長さ)

T1　　Anyty 本体と LCD モニタを充電する

顕微鏡を使用する前に、顕微鏡本体のバッテリーを充電します。

付属の充電用ケーブルを顕微鏡本体の充電用コネクタに接続します。

接続したらもう一方をパソコンの USB ポートか、AC/USB 変換アダプタに接続します。

充電中はダイヤルスイッチが青色に点滅します。

充電時間は約 3 時間です。満充電で最大 5 時間使用が可能です。

注意　USB 充電ケーブルは顕微鏡本体専用です。絶対に LCD モニタの充電に使用しないでください

故障や発熱の恐れがあり、大変危険です。

充電用コネクタ

ダイヤルスイッチ

右に回して「カチッ」と音が鳴るとオンになります

充電中	青い点滅
充電完了	青い点灯
電池が消耗した状態	赤い点灯

次に LCD モニタの充電を行います。

LCD モニタ左側の充電口に付属のアダプタのコネクタを接続し

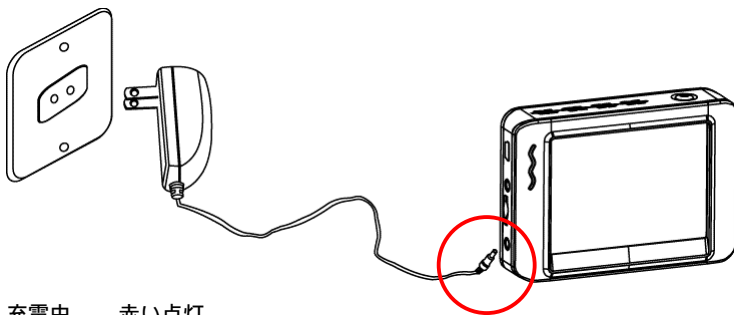
家庭用コンセント（100V）に接続してください。

充電中はモニタの左上の部品が赤く点灯します。

充電が完了すると赤いランプは消灯します。

充電時間は約 3 時間です。最大で約 2 時間使用できます。

注意　AC アダプタは LCD モニタ専用です。絶対に顕微鏡の充電に使用しないでください。

故障や発熱の恐れがあり、大変危険です。

充電中　　赤い点灯

充電完了　消灯

LCD モニタの電源を入れるには

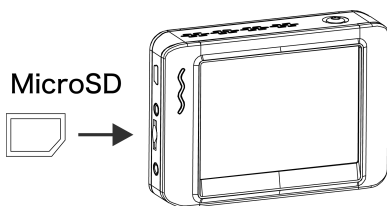
モニタ上部の電源ボタンを押します。

画面左上の部品が緑に点灯しモニタがオンになります。

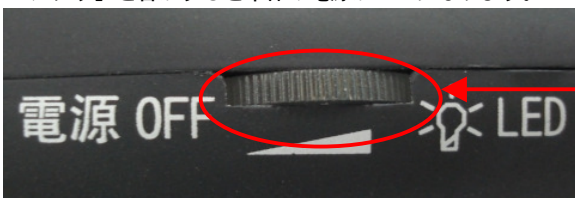
電源をオフにするには電源ボタンを長押しします。

T2　　電源を入れる、無線チャンネルを合わせる

LCD モニタに MicroSD カードをセットします。

左側の MicroSD スロットへ向きに注意して差し込んでください。

次に Anyty 本体の無線チャンネルスイッチを任意の番号に合わせます。

番号を合わせたら Anyty 本体のダイヤルスイッチを右に回して

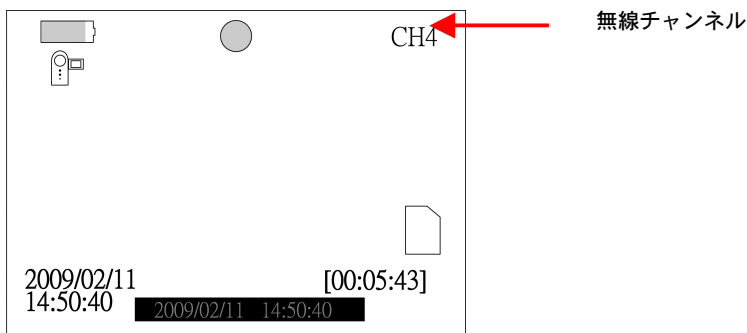
「カチッ」と音がすると本体の電源が ON になります。

ダイヤルスイッチ

※　LED の光の調節と

兼用です

AnytY 本体の電源を入れたら次は LCD モニタの電源をオンにします。

モニタがオンになると下記のように画面が表示されます。

画面右上に現在の無線チャンネルが表示されています。

本体と LCD モニタの無線チャンネルが合わない場合は

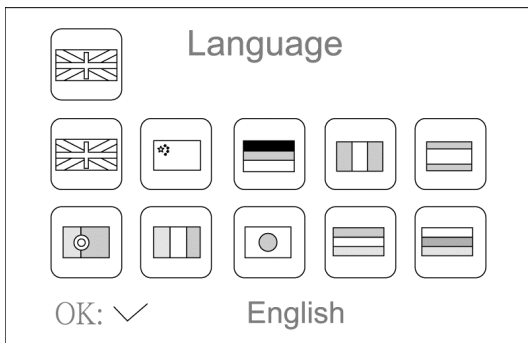
LCD モニタ右側の「▼」ボタンを押してチャンネルを調整します。

チャンネルを合わせて本体の映像がモニタに表示されたら

電源と無線チャンネルの設定は完了です。

■ 表示言語の設定

※本説明書はモニタ部の表示言語の英語表記に準じております。

本項目では表示言語の確認と変更をし、表示言語を英語に変更します。

【変更手順】

①モニタの電源オンの状態で（三）ボタンを 2 秒ほど押してはなします。

②設定メニューが表示されます。

「SYSTEM SETTING（システム設定）」を「▲」、「▼」ボタンで選択して「OK」ボタンで決定します。

③各種設定が表示されます。

「Language（言語）」を「▲」、「▼」ボタンで選択して「OK」ボタンで決定します。

④言語設定が表示されます

「English（英語）」を「▲」、「▼」ボタンで選択して「OK」ボタンで決定します。

⑤（三）ボタンを 3 回押すとメインの画面に戻ります。

以上で表示言語の変更は完了です。

T3　　　かんたんに使う

※使用手順の詳細は次ページ以降をご覧ください。

①　Anyty 本体と LCD モニタの電源をオンにします。 	②レンズカバーを装着して、倍率と焦点を合わせます。
③LCD モニタの「▲」ボタンで静止画か動画のどちらを保存するか選択します。 	③LCD モニタの「OK」ボタンで記録します。

T4　　　Anyty 本体の操作について

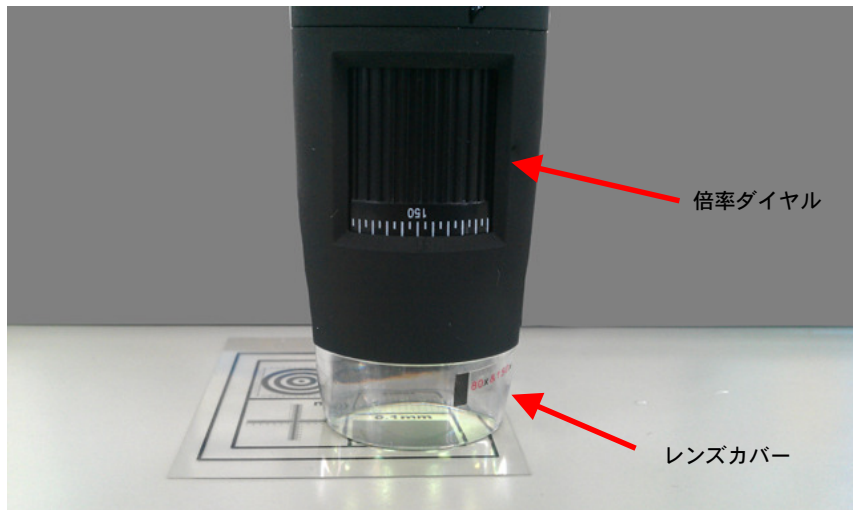
※TV モデルでは本体の撮影ボタンは使用いたしません。

※この顕微鏡は倍率ダイヤルが手前を向く方向で使用します。

1.レンズカバーの装着

本製品は単焦点のため、合わせる倍率によって対象物までの高さ（距離）が異なります。

付属のレンズカバーには対応する倍率が印刷されていますので撮影したい倍率に合わせてレンズカバーを付け替えて使用してください

撮影はレンズカバーと対象が接触する位置が正しい焦点距離となります。焦点の微調整は倍率ダイヤルで行ってください

2.非接触の撮影や任意の倍率での撮影

顕微鏡はレンズカバーを取り外した状態で撮影することも可能です。対象物にレンズカバーを接触できない場合やレンズカバーにない任意の倍率で撮影したい場合は先に倍率ダイヤルで撮影したい倍率に合わせてから手で対象物との距離を調整して使用してください

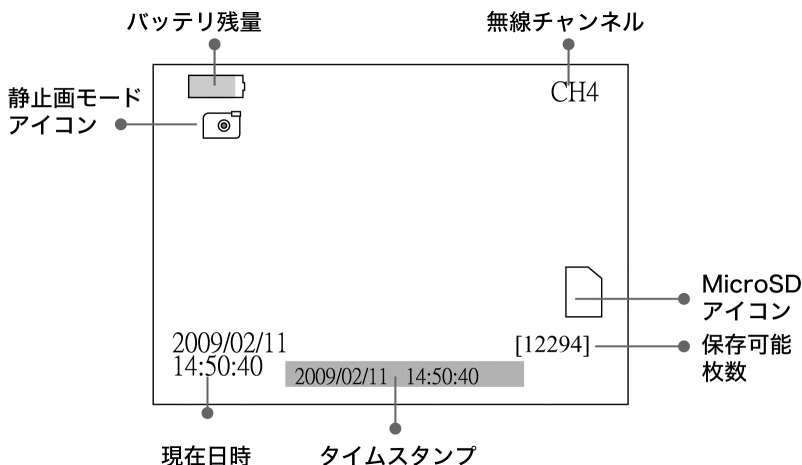
※本体の内部の LED やレンズに接触しないようご注意ください

矢印の方向に引くと
外れます

T5　　　静止画を撮影する

Anyty 本体で表示している映像は LCD モニタ側で操作して保存します。

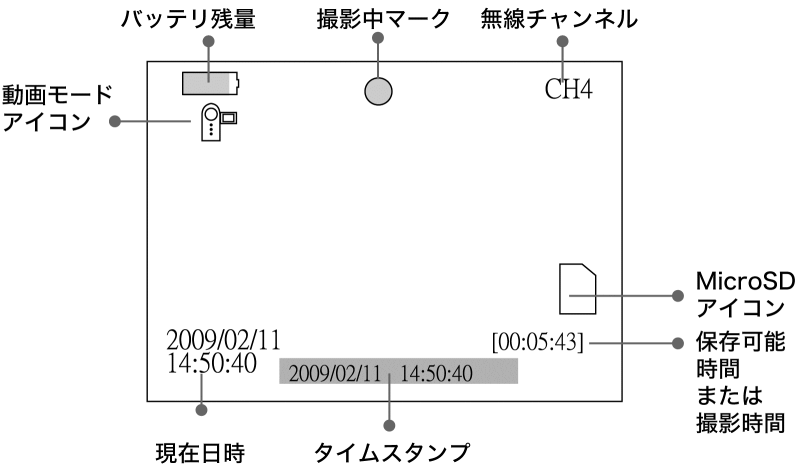
静止画の保存はまず LCD モニタの電源を入れて LCD モニタ左の「▲」ボタンを押します。
静止画モードになります。

静止画保存モード

静止画保存モードで LCD モニタ左側の「OK」ボタンを押すと
現在の映像を静止画で保存します。

MicroSD カードのデータがいっぱいになった場合は
右下の MicroSD アイコンに「F」マークが表示されます。

T6　　　動画を撮影する

LCD モニタの電源を入れると初期状態では動画モードで起動します。
または静止画モードの時に LCD モニタ左の「▲」ボタンを押します。動画モードになります。

動画保存モード

動画保存モードで LCD モニタ左側の「OK」ボタンを押すと動画の保存が開始されます。
撮影中は画面上部に撮影中の丸いアイコンが点滅し、画面右下に撮影開始してからの時間が
表示されます。
もう一度「OK」ボタンを押すと撮影が停止します。

MicroSD カードのデータがいっぱいになった場合は
右下の MicroSD アイコンに「F」マークが表示されます。

T7　　　画像と動画のプレビュー

LCD モニタがオンの状態で右側の「≡」ボタンを押すと
画像 動画のプレビューモードになります。

最初の画面はフォルダの一覧です。
撮影日でフォルダが分けられていますので
表示したい日付けを「▲」、「▼」ボタンで選択して「OK」ボタンを押します。

次に選択した日付のファイルの一覧が表示されますので
表示したい項目を「▲」、「▼」ボタンで選択して「OK」ボタンを押します。

※　ファイル一覧での画像 動画の表記は以下になります。
ダブルクォーテーションがついている　　　画像ファイル
ダブルクォーテーションがついていない　　　動画ファイル

画像のプレビュー

ファイル一覧で画像を選択して「OK」ボタンを押すとその画像を画面に表示します。

もう一度「OK」ボタンを押すと前の画面に戻ります。

動画のプレビュー

ファイル一覧で再生したい動画を選択して「OK」ボタンを押すと再生を開始します。

一時停止　：　再生中に「OK」ボタンを押します。

早送り　：　再生中に「▲」ボタンを押します。

巻き戻し　：　再生中に「▼」ボタンを押します。

終了　：　「≡」ボタンを押すと終了します。

T8　　画像 動画の削除

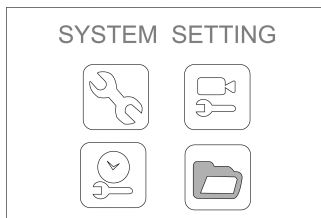
ファイルを削除したい場合は再生する場合と同じように削除したいファイルを
「▲」「▼」ボタンで選択します。
次に　　「≡」ボタンを約２秒押すと、削除するかどうかの
選択肢が表示されますので「YES」を選択して「OK」ボタンを押すと
選択したファイルが削除されます。

T9　　各種設定について

LCD モニタの各種設定を変更する事が可能です

モニタの電源がオンの状態で、「≡」ボタンを 2 秒ほど長押しして離すと

右図のような設定メニューが表示されます。

「▲」、「▼」ボタンで項目を選択して確認ボタンを押してください

● 表示言語の確認 変更

⇒43 ページをご覧ください。

● 映像形式の設定

※ 通常は NTSC から変更する必要はありません。

① 設定メニューで「SYSTEM SETTING」を選択します

② 「Video System」を選択します

③ 「NTSC」「PAL」よりいずれかを選択して
確認ボタンで決定します。

● フォーマット

※ フォーマットを実行するとカード内のデータは全て削除されます

① 設定メニューで「SYSTEM SETTING」を選択します

② 「Format」を選択します

③ 「Yes」を選択すると MicroSD カードを初期化します。

● 設定の初期化

※ 設定の初期化を実行すると設定した内容は全て元に戻ります。

① 設定メニューで「SYSTEM SETTING」を選択します

② 「Default Setup」を選択します

③ 「Yes」を選択すると設定を初期化します。

● バージョン情報

内部ソフトウェアのバージョンを確認します。

① 設定メニューで「SYSTEM SETTING」を選択します

② 「Version」を選択します

③ 現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

● フレームレート

動画のフレームレートを変更します。

① 設定メニューで「RECORDER　SETTING」を選択します

② 「Frame Rate」を選択します

③ 10～30fps の範囲でフレームレートの変更が可能です。

● タイムスタンプ

タイムスタンプの有無の変更を行います。

① 設定メニューで「RECORDER　SETTING」を選択します

② 「Time Stamp」を選択します

③ 「ON」「OFF」のいずれかを選択して確認ボタンを押します。

● 記録形式

静止画 動画の切換えを設定からも変更できます

① 設定メニューで「RECORDER　SETTING」を選択します

② 「Recording Type」を選択します

③ 「STILL」「VIDEO」のいずれかを選択して確認ボタンを押します。

● プレイバック（プレビュー）

データのプレビューを設定メニューからも実行可能です。

① 設定メニューで「EVENT PLAYBACK」を選択します

② 画像 動画のプレビューが可能です。

● 日時の設定

内部の日時の設定の変更を行います。

① 設定メニューで「Date / Time」を選択します

② 年月日と時分を設定します。

アップ ダウンボタンで値を変更して確認ボタンで次の項目に移動します。

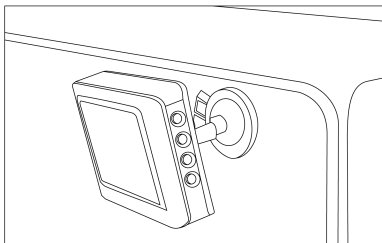
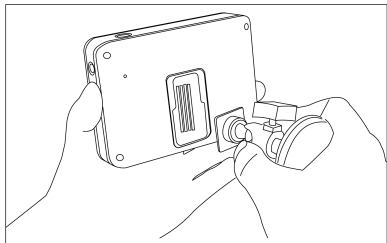
③ 全ての値を設定したらメニューボタンを押して終了します。

T10　　各種アクセサリーについて(TV 接続 スタンド)

● LCD モニタ用マグネットスタンドの取り付け

LCD モニタを手でもって使用するだけでなくマグネットスタンドで固定することも可能です。

スタンドを取り付けて LCD モニタを机に置いたり。磁力で固定することが可能です。

注意　磁力を使用しているため磁力で悪影響を受ける機器に固定しないようご注意ください。

● TV 出力機能

LCD モニタの映像を TV などに表示させることも可能です。

付属のビデオケーブルで LCD モニタの映像出力と TV の映像入力を接続してください。

LCD モニタの電源を入れると画面が表示されず TV へ映像が出力されます。

● USB ケーブルでの接続（オプション）

MicroSD のデータをパソコンで参照したいときには市販の miniUSB ケーブルを使用します。

LCD モニタとパソコンを miniUSB ケーブルで接続し LCD モニタの電源を入れてください。

MicroSD スロットのカードのデータが「リムーバブルディスク」としてパソコンで

参照できるようになります。

● 動画は XviD Codec にて保存されます。パソコンで再生するには XviD 形式に対応した動画再生ソフトを別途ご準備ください

T11　スペック（LCD モニタ部）

2.4Ghz ワイヤレス顕微鏡 Anyty TV モデル

LCD モニタ部スペック

※Anyty 顕微鏡本体のスペックは PC モデルのスペックの項を参照ください。

※倍率は撮影画像を 15 インチモニタへ表示した際の実サイズを基準に表記しております。TV モデルの専用モニタで表示した場合の表示倍率は異なります。あらかじめご了承ください

液晶部	3.5 インチ TFT 液晶
解像度	320 x 240
ビデオ形式	PAL/NTSC
使用周波数	2414MHz、2432MHz、2450MHz、2468MHz
供給電圧	5VDC
消費電流（最大）	500mA
充電時間	約 3 時間
稼働時間	最大 2 時間
静止画/動画解像度	640 x 480
動作サイズ	27M バイト/分
フレームレート	最大 30fps
出力信号レベル	0.91.3VP-P@75ohm
受信感度	《-85dbm
外形	100x75x25mm
重量	140g
動作可能温度	-10℃～50℃
動作可能湿度	15～85％RH

4　　故障かな？と思ったら

A　Anyty VIEW の操作中に動作しなくなった時は以下の操作をお試しください。

1　Anyty VIEW を終了しレシーバーを取り外します。

2　3 分ほど待って改めてレシーバーを接続します。

3　顕微鏡の電源を入れなおしてもう一度 Anyty を起動します。

B　Anyty VIEW を起動中にパソコンがスリープや休止状態になった場合、Anyty VIEW が反応しなくなることがあります。この時は Anyty VIEW を再起動してください

C　顕微鏡を接続して Anyty VIEW を起動しても動作しない場合は、一度 Anyty VIEW をアンインストールし、もう一度 Anyty VIEW をインストールして改めて試してください。

D　この顕微鏡を使用する環境に無線 LAN 環境や bluetooth 環境がある場合、顕微鏡の動作に影響を及ぼすことがあります。

E　TV モデルにて LCD モニタが操作できなくなった場合は、裏側のリセットボタンを先の細いもので押して、電源を入れなおしてください。

F　Windows7 や Vista にてシステムのビット数を確認するには以下の操作をお試しください

デスクトップの「スタートボタン」を右クリックし「プロパティ」をクリックします

「システム」の「システム項目」をご覧ください

システム

評価:　Windows エクスペリエンス インデックス

プロセッサ:

実装メモリ (RAM):

システムの種類:　32 ビット オペレーティング システム

ペンとタッチ:　このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定

G　動画の保存のためにコーデックを追加でインストールするには以下の操作を行ってください。

ソフトウェア CD をパソコンの光学ドライブにセットしスタートボタンの「マイ コンピュータ」を開きます。次に光学ドライブのアイコンを右クリックし「開く」を押し、CD 内の「Autorun.exe」を実行してください。インストールプログラムが起動します

画面の指示に従いインストールを行います。インストール完了後、動画保存時の「コーデック」の欄に“MJPG_MainConcept Video V3.2.4”を選択できるようになります

5　保証規定

本保証規定はスリー アールシステム株式会社（以下弊社）が製造した製品（以下製品）が故障した場合の保証内容について明記したものです。弊社は弊社取扱の製品の故障についてこの保証規定に基づいて修理 交換を致します。

●保証期間

製品の保証期間はお買い上げ製品の保証書、または取扱説明書を参照ください。

保証期間の開始日はご購入日からと致します。

●保証範囲

保証期間中に付属の取扱説明書に基づいた正常な環境、使用方法にて故障した場合、弊社は無償にて製品の修理、交換を行います。

また製品は日本国内にて販売しているものであり、保証は日本国内においてのみ有効です。海外への保守 サポート等の対応、修理品の海外発送等は一切致しません。

保証期間内であっても以下の事項に該当する場合、保証規定の対象外となります。

1　レシート等お買い上げ日が確認できるものを弊社に提示出来ない場合。また保証書のある製品において保証書が提示されない場合。

2　オークション等の個人間売買などを含む中古販売によって入手した製品。

3　お買い上げ後の移動、輸送時の落下や衝撃などにより生じたもの。

4　お取扱時の不注意や誤った使用方法による破損。

5　お客様にて分解、改造を行った製品、また弊社以外で修理、分解を行った事のある製品。

6　お買い上げ製品に接続した機器やケーブルなどによる故障、また付属品 オプションなどの専用品以外の機器を使用したことによる故障。

7　取扱説明書等で示された使用環境、使用条件を満たさない状態での使用、過度の連続使用など環境による故障。

8　取扱説明書等の注意事項、警告事項が守られない状態で起こった使用方法による故障。

9　火災、地震、水害などの天災による故障、また戦争、騒乱などによるもの。

●免責事項

1　部品の経年劣化による故障や付属品の交換等にこの保証は適用されません。

2　製品の使用によって生じた直接的、間接的な損害などについて、弊社は製品の故障 障害によるものかに関わらず一切の責任を負いません。

3　製品は将来発表されたハードウェア ソフトウェアとの互換性は保証致しません。

4　通常使用時、故障時、また修理時における製品内部等に保存されたデータの消失、破損について弊社は一切の責任を負いません。データにつきましてはお客様の責任においてのバックアップ等をお願い致します。

5　製品の中には寿命、使用時間などが設定された部品が使用されている事があります。これは使用頻度や使用環境などによって実際の寿命、交換時期とは前後します。場合によっては保証期間内であっても部品交換が有償となる事があります。

●注意事項

1　弊社が日本国国内において正規に販売、取扱したものに関してのみ保証は有効です。並行輸入品や弊社が正規に取扱いしていない商品について弊社は修理、交換は致しません。

2　弊社製品につきまして出張、訪問による修理やサービスは行っておりません。

3　お預かり時等、輸送時による破損 紛失等につきまして弊社は責任を負いません。

4　修理、交換が難しいと弊社が判断する場合、同等品、後継品への交換にて対応することがあります。

5　修理、交換品の保証期間につきましてはお買い上げ時の保証の期限、もしくは修理、交換品の発送日の３ヵ月後、いずれか長いものとなります。

6　この保証規約は予告無く変更されることがあります。

7　本規定は上記の規定に基づき修理、交換対応をするもので、お客様の法律上の権益を制限するものではありません。

6　製品保証書

商品名　:　2.4GHz ワイヤレスデジタル顕微鏡シリーズ

型番　:

※　お手数ですが説明書 4 ページをご覧の上、
お求めいただいた製品型番を記入ください。

保証期間　:　お買い上げ日より　12 ヶ月

氏名　:

住所　:　〒

電話番号：

購入日：

販売店：

製造輸入販売元

スリー・アールシステム 株式会社
3R SYSTEMS CORP.
本社：〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂5丁目8番11号
TEL：092-441-4056　FAX：092-441-4077
e-mail：info@3rrr.co.jp　ホームページ：http://www.3rrr.co.jp/